

台湾映画祭

2019

福岡から直行便で約2時間の距離にある、近く行ってみたい台湾。その文化や歴史について大いに興味をわくところ。本年も昨年に引き続き、福岡市主催の「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」関連企画として、台湾映画を4作品上映いたします。映画を通して、台湾の風土や文化の香りを感じる事が出来る絶好の機会です。日台の“絆”がより深いものとなる事を願います。

〈開催期間〉

9.12 [THU] → 9.17 [TUE]

TAIWAN
Film
Festival



2017年 (109分)

52Hzのラブソング

全編ラブソングで綴った極上のミュージカル・エンターテインメント

- 製作：台湾
- 監督：ウェイ・ダーション
- 出演：リン・ジョンユー、ジョン・ジェンイン



2017年 (107分)

台北暮色

2017台北映画祭4部門受賞
2017台湾金馬獎「最優秀新人賞」

- 製作：台湾
- 監督：ホアン・シー
- 出演：リマ・ジタン、クー・ユールン、ホアン・ユエン



1985年 (119分)

台北ストーリー

1985年
ロカルノ国際映画祭
審査員特別賞

- 製作：台湾
- 監督：エドワード・ヤン
- 主演・製作・共同脚本：ホウ・シャオシェン



2013年 (120分)

呉さんの包丁

九州初上映

～戦場からの贈り物～

- 製作：日本 ●記給：クリエイティブ21
- 監督：林 雅行
- ナレーション：三宅 真衣

TAIWAN film festival 2019

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
TEL.092-263-1100

アクセス
●地下鉄「中洲川端駅」下車徒歩すぐ
●西鉄バス「川端町・博多座前」下車徒歩すぐ

お問合せ先
台湾映画祭上映実行委員会
TEL. 092-781-3300
(平日のみ 10:00~17:00)



上映作品



© 2017 52Hz Production All Rights Reserved.

バレンタインデーの台北。書き入れ時の花屋の店主・小心(シャオシン)には、一緒に過ごす彼氏がいない。想いを寄せる蕾蕾(レイレイ)のために注文の品を作った孤独なパン職人・小安(シャオアン)は、それが彼女の恋人へ贈られるものだ知っている。切なさを胸に、花とチョコレートをそれぞれ配達する小心と小安だったが、ある事件から行動を共にすることに。一方、蕾蕾は、夢を追いつける作曲家の大河(ダーハ)を応援しながら十年間生活を支え続けていたが、二人は別れとプロポーズという正反対の思惑でバレンタインの朝を迎えていた。

52Hzのラヴソング
2017年(109分)
「海角七号 君想う、国境の南」「セデック・バレ」のウェイ・ダーション監督最新作!



© 3H Productions Ltd

2017台北映画祭 4部門受賞 **2017台湾金马獎「最優秀新人賞」**
ホウ・シャオシェンの現場で映画を学んできたホアン・シー監督のデビュー作品。
車で生活する中年の男。人と混じり合えない少年。「ジョニーはどこにいますか?」という間違い電話を何度も受ける独り暮らしの女。そんな3人が孤独の中、出逢い、また、新しい未来が見えてきたとき、彼女の思いがけない過去が明らかになっていく。台北の<暮色>。物語のクライマックス、そこに、何を見るのか。

台北暮色
2017年(107分)
反射する暮色の街(台北)に、いま、生きている。女と、男と、少年。



© 3H productions Ltd. All Rights Reserved

1985年 ロカルノ国際映画祭審査員特別賞
1980年代の台湾・台北。アリオン(ホウ・シャオシェン)は元リトルリーグのエースで家業の布地問屋を営む。アジン(ツァイ・チン)は不動産会社を解雇される。2人は幼なじみのカップル。アジンは米国移住を提案するが、アリオンは踏み切れない。すさまじい風が吹き始める二人の間に、ある過去の出来事が重なり、やがて思いもよらない結末が訪れる…。台湾ニューシネマの旗手エドワード・ヤン監督初期の傑作。主演は『黒衣の刺客』の監督として知られる、ホウ・シャオシェンが努める。

台北ストーリー
1985年(119分)
台湾ニューシネマの奇跡の瞬間が
刻印された幻の傑作



台湾の金門島は、中国・福建省の廈門までわずか約10キロの美しい島。かつて国民党軍と共産党軍と戦いの最前線にあった島である。1958年、毛沢東率いる共産党軍が数週間約50万発の砲弾を打ち込み、78年まで两岸から撃ち合ったという。金門島でこの砲弾を材料に包丁を作る職人・呉さんは「砲弾は僕にとって空からの贈り物だ」と語る。現在は、台湾人だけでなく大陸からも大勢の中国人観光客が訪れる。彼らは呉さんの工場を見学し、こぞって包丁を買っていき、包丁にこめられた呉さんのメッセージとは…

呉さんの包丁
2013年(120分)
「戦場からの贈り物」
憎しみを笑顔に変えた奇跡の物語

9/12(木)	9/13(金)	9/14(土)	上映開始	9/15(日)	9/16(月・祝)	9/17(火)
台北ストーリー (119分)	台北暮色 (107分)	呉さんの包丁 (120分)	10:30	台北ストーリー (119分)	52Hzのラヴソング (109分)	呉さんの包丁 (120分)
呉さんの包丁 (120分)	52Hzのラヴソング (109分)	台北暮色 (107分)	13:30	52Hzのラヴソング (109分)	台北暮色 (107分)	台北ストーリー (119分)
	台北ストーリー (119分)	52Hzのラヴソング (109分)	16:30	台北暮色 (107分)	呉さんの包丁 (120分)	

※各回完全入れ替え制です。 ※「あじびホール」での飲食はご遠慮願います。 ※全作品デジタル素材、日本語字幕及びナレーション付きです。
※定員(100名)を超えた場合は入場をお断りさせていただく事もございます。

料金
(1作品)

8F「あじびホール」
前売 1,100円 当日 1,300円

アジアフォーカス・福岡国際映画祭のホームページもご覧ください。
<http://www.focus-on-asia.com/>

※「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」のチケットも利用できます。
※中高大学生・留学生は500円で入場できます。(当日、学生証を提示下さい)
※小学生以下は無料です。
※障がい者は500円で入場できます。(必ず身体障害者手帳または療育手帳、精神障害者保険福祉手帳のご提示をお願いします。なお、付き添いの方1名様も500円です)
○座席指定はございません。
○入場は上映開始の10分前から開始いたします。
○全日程が中止となった場合を除き、払い戻しはいたしません。
○入場者多数の場合はご鑑賞いただけない場合がございます。